

総合的な学習の時間学習指導案

指導者	堀江 律子
日時	令和2年1月28日(火) 14時00分～14時45分
学年	第5学年1組 男子17名 女子19名 計36名
単元名	音戸の魅力を全国に発信しよう ～かきレンジャー&ちりめんジャー～

1 単元について

このような単元です

- ・ 本単元は1年間を通して音戸の特産物である「ちりめん」と「牡蠣」について調べる単元である。中でも第三次の「伝えよう！音戸の名物」の学習では、調べて分かったちりめんや牡蠣の魅力を学校ホームページに掲載することで、ICTを活用した情報活用・処理能力の向上が期待される。
- ・ 本単元の学習材を自分達の住んでいる音戸の海にすることで、生活に密着した特産物について考えることができる。また、地域の一員として何ができるかを考え、学びを還元しやすい設定となっている。
- ・ 昨年度末、先輩である現6年生から「ぼくたちができなかったホームページの掲載をお願いします」と託されたことから、本単元の課題が設定されており、ゴールのイメージをしながら学習をすることが可能である。

このような地域・児童です

- ・ 本校が所在する呉市音戸町は海に面しており、温暖な気候の地域で牡蠣の養殖やちりめん漁が有名である。水産業に携わる保護者や地域の人も多く、釣りや漁、牡蠣の養殖業などに親しんだ生活をしている児童も多い。一方で、生産者や携わる人の仕事内容や牡蠣などの生態について詳しく知らない児童が36名全員だった。
- ・ 第4学年の総合的な学習の時間では、食品ロス、リサイクル活動などについて学習をしており、地域の環境について関心を高めている。
- ・ 9月から児童数のiPadが導入されたことによりICTを活用した学習活動の場が増えてきた。国語科、算数科、総合的な学習の時間などでインターネットを使った調べ学習、ロイロノートを使った資料作り、その資料を使ったプレゼンテーション、Wordを使った文書作成など、様々なツールを利用して学習を進めてきた。しかし、機器の操作への慣れには個人差があり、個別に課題を進める際、進捗状況の差が広がるのが課題である。
- ・ 資料を活用して目的に応じた内容をまとめてスライド資料に表現することができる、またプレゼンテーションができる児童は30名程度である。しかし、集めた資料や文章を目的に応じてまとめることが難しく、そのまま挿入・貼り付けするだけで終わってしまう児童も数名いる。

だからこのような授業をします（特にICT活用に関わって）

- ・ 生産者や牡蠣の生態について知るために、インターネットを使って調べ学習を行う。その後、新たに出てくる疑問を解決するために、見学やインタビュー、体験活動を重点的に行う。
- ・ 他教科の学習や事前のプログラミング学習の中で、スライド作成の作業に必要な操作を練習する場を確保し、ICT活用に向けての児童の不安を解消しておく。
- ・ これまでに集めた情報の中で、全国の人に知らせたい「ちりめん」や「牡蠣」の魅力を精選し、ロイロノートを使って掲載するページを班で協力しながら作成する。
- ・ 個人でのスライド作成の不安や作業ペースの差を解消するため、班で助言し合いながら作成する場を継続的に設定する。
- ・ 読み手により良く伝えるために改善したことを全体で共有するために、改善前と改善後のスライドを比較できるように提示する。
- ・ 班の中で情報交換や助言、スライド改善の手助けができるように、児童の進捗を確認しながら生徒間通信を意図的に解除する。
- ・ これまで協力を仰いだ地域の人や講師を招いて、ホームページのプレゼンテーションを行い、修正を行う。

2 単元の目標

地域の特産物である「ちりめん」や「牡蠣」の特徴や魅力、生産者の思いや願いを調べたり聞いたりすることで、設定した課題の解決に向けて取り組むことを通して育成したい「資質・能力」を身に付けるようにする。また、学習の成果等の広報活動を通して、音戸の「ちりめん」や「牡蠣」を地域の自慢として自覚し、これまで以上に地域に愛着をもつことができるようにする。

3 本単元で育てる資質・能力 評価基準

「音戸の魅力を全国に発信しよう～ちりめんジャー&かきレンジャー～」で 育てようとする資質・能力 (音戸中学校区重点)		
資質・能力	学びの宝石	ルーブリック
知識・技能		<p>A i P a dを使って、目的に応じて文章を打ったり写真などの資料を挿入したりして、スライドを作成したり助言したりすることができる。</p> <p>B i P a dを使って、目的に応じて文章を打ったり写真などの資料を挿入したりして、スライドを作成することができる。</p> <p>C i P a dを使って、目的に応じて文章を打ったり写真などの資料を挿入したりして、スライドを作成できない。</p>
思考表現する力	考える力 伝える力	<p>A 目的をもって情報を整理分析し、スライドに表現したり、進んでプレゼンテーションをしたりすることができる。</p> <p>B 目的をもって情報を整理分析してスライドに表現したり、プレゼンテーションをしたりすることができる。</p> <p>C 情報の整理分析ができず、ちりめんや牡蠣についての情報をスライドに表現できない。</p>
協働的に関わる力	ともに学ぶ力	<p>A 各自が収集した情報を交流し合いグループでまとめるとともに、全体で交流し合って、ちりめんや牡蠣について考えを深めることができる。</p> <p>B 各自が収集した情報を交流し合いグループでまとめるとともに、全体で交流し合って、ちりめんや牡蠣について知ることができる。</p> <p>C 各自が収集した情報を交流し合ってまとめることができない。</p>
地域の一員として関わる力	地域の一員	<p>A ちりめんや牡蠣の特徴や良さに気付き、自らも地域の一員として全国に広める活動をしている。</p> <p>B ちりめんや牡蠣の特徴や良さに気付き、地域の一員として活動しようとしている。</p> <p>C ちりめんや牡蠣の特徴や良さに気付くことができない。</p>

4 単元イメージ

三次（18時間）

伝えよう！音戸の名物

調べたことをまとめてホームページ作りをする。

課題設定 「音戸の名物を伝える方法を話し合おう。」

大浦崎海岸清掃の計画を立て、海岸清掃をする。

学習発表会の準備をし、発表する。

二次（27時間）

5年1組カキレンジャー

課題設定 「音戸の海の環境を守るために自分たちにできることを話し合おう。」

牡蠣について、インターネットや牡蠣業者の方の工場見学を通して調べる。

一次（25時間）

5年1組チリメンジャー

特産物の「ちりめん」について調べ、調べたことをまとめる。

北広島の民泊でお世話になった方に調べたことを伝えたり、いっしょにちりめん料理を作ったりする。

課題設定 「ふるさと音戸の有名な産業について調べよう。」

ふるさと音戸の有名な産業について知っていることを出し合い、課題を設定する。

5 三次の指導計画（全18時間）

学習活動	※関連教科 ★指導上の留意点	評価			
調べて分かったちりめんや牡蠣の魅力を、ホームページに掲載して全国に発信しよう。		知	表	協	地
<div data-bbox="153 456 387 510" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">課題の設定(2)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで調べてきた情報の中で、全国に発信して伝えたいものをグループ毎に分担する。 ・グループ内で担当する情報のスライドを決定する。 	<div data-bbox="922 412 1157 629" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>★情報を分かりやすく伝えるためのモデルを提示し、よりよいスライドを作るためのポイントを押さえておく。</p> </div> <p>※国語 「和の文化を受けつぐ」</p>	○			
<div data-bbox="153 792 596 846" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報の収集・整理・分析(11)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・作成するスライドの構成を考える。 ・スライド作成に足りない資料を収集する。 <div data-bbox="153 1106 898 1223" style="background-color: yellow; padding: 2px;"> <p>・ロイロノートを使って、助言し合いながらスライドを作成する。 【本時7/18】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・班や学級で、スライドを交流しながら推敲する。 	<div data-bbox="922 779 1157 909" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>★集めている情報の正確性や出典先を確かめる大切さを指導する。</p> </div> <p>※社会 「情報社会」</p> <p>※学活 「情報モラル」</p>	○	○	○	
<div data-bbox="153 1487 448 1541" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まとめ・表現(5)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・協力していただいた講師を招き、作成したスライドを使ってプレゼンテーションを行う。必要に応じて加筆・修正を行う。 ・ホームページに掲載して、全国に発信する。 ・保護者や地域の方に閲覧した感想をもらい、1年間の振り返りをする。 	<p>※国語 「資料を生かして」</p> <p>※学活 「情報モラル」</p>		○	○	○

6 本時の目標

音戸の牡蠣やちりめんの魅力が読み手に伝わるように、助言し合いながらホームページに掲載するスライドを作ることができる。

【思考表現する力】

7 本時の展開（本時 7 / 18時間）

学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点（○） （「特に配慮を要する」児童への支援●）	評価規準 （評価方法）
1 「学びの宝石」を確認する。			
2 本時の課題を確認する。		○本時の流れと各自の担当する内容を提示し、活動に見通しをもたせる。	
音戸の牡蠣やちりめんの魅力が伝わるように、助言し合いながらスライドを作る。			
3 生徒間通信を使って、グループ内で共有・助言をし合い、改善点を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・牡蠣の美味しさを伝えたいなら、もっと写真を大きくした方がいい。 ・言葉が長いから、もっと短い方がいい。 ・海の豊かさを伝えるのに、違う文になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで1つのタブレットにスライドを集約させて閲覧・共有できるように、生徒間通信を解除する。 	読み手に伝わるように、助言し合いながらスライドを作っている。 （行動観察、ロイロノート）
4 改善点を踏まえて、スライドを作成する。		●iPad や文字入力の扱いに慣れていない児童には、個別に声かけをする。	
5 スライドの改善点を全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・変えて分かりやすくなった。 ・もっと写真を大きくした方がいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体で改善点が共有できるように、改善前と改善後のスライドを共有する。 ○児童同士で互いのスライドを閲覧・共有できるように、生徒間通信を解除する。 	
6 本時の振り返りをし、次時の活動の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ言葉が繰り返しあったので、一つにしぼりました。 ・見出しを大きくしたので、読む人が分かりやすくなったと思います。 	○モニターや通信を使って、学級全体で振り返りを共有し、次の活動に生かす。	

各自の担当する伝えたい情報を確かめることで、スライド作成への意欲を高める。【チェックシート①】

各自の担当するスライド作成で困っていることを相談したり、客観的に改善したりできるようにグループで共有する場を設定する。
【チェックシート④】

8 資質・能力に係る成果と課題（「思考表現する力」にかかわって）

【成果】

- 「課題の設定」「情報の収集」「情報の整理・分析」「まとめ・表現」の探究のプロセスにおいてタブレット等の情報機器を活用する場を設定した。目的を明確にした上で、これらの機器を活用したことが、児童の思考力・表現力を深めるのに有効であった。
- 単元全体を通して、自分が発信した情報に対して、友達や周囲の人のアドバイスを基にして、自分の考えを改善したり発展させたりする場を大切にした。中でも、情報を交流するツール（ロイロノート）を使用することで、タブレット上で自分と他者との考えの違いを比較したり、良い点や改善点を伝え合ったりしながら考えを深め、整理した情報をスライドにまとめることができる児童が増えた。
- 探究的な学習の過程となるよう、単元に複数の課題を設定したことで、多面的に音戸の名物について考え、地域の一員として何が出来るか考えることができた児童が多かった。

【課題】

- 情報の整理分析をする段階で、必要な情報を選出することが難しい児童がいた。資料を作成して自分の考えをまとめる際に必要な情報モラルやメディアリテラシーの事前学習を計画的に行う必要がある。

【ICT活用に係わる今後に向けて～呉市タブレットモデル校として～】

- ・児童の思考表現する力を伸ばすためのツールとして、iPad・付箋・ノートなど、そのときの児童実態や目的に合ったツールを選択する見極めが大切である。
- ・互いに助言をし合う際は、iPadの台数をグループで1台にして活動するなど、友達のスライドに集中できるような工夫が大切である。
- ・今回は、スライドの書き方を中心に助言したが、内容についても吟味する場を充実させることで、思考し、表現する力を育成することも大切である。

